

トヨタ純正

積荷シート

取扱書

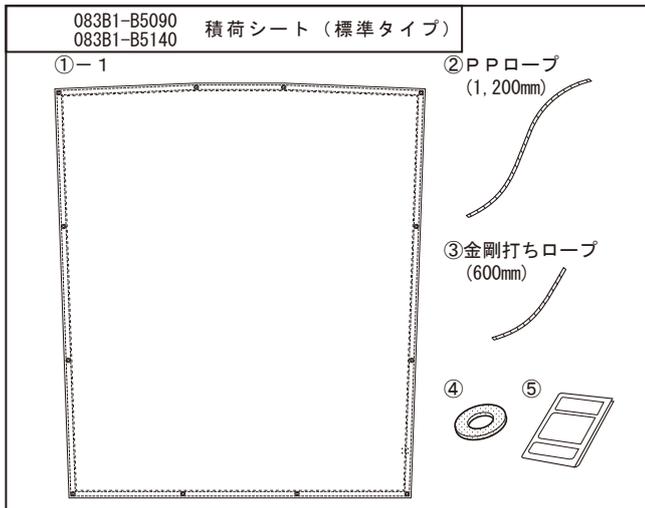
このたびは、トヨタ純正 積荷シート をお買いあげいただきましてありがとうございます。
 本書は、積荷シート の取り扱い要領について記載してあります。
 取り付けの前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品 番

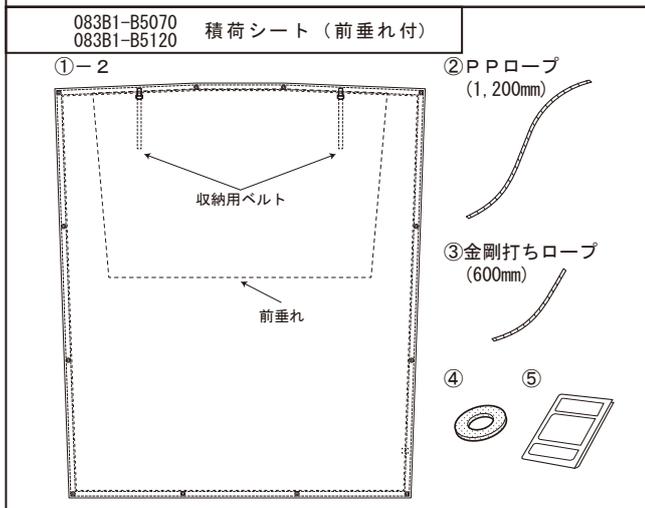
品 番	083B1-B5090
	083B1-B5140
	083B1-B5070
	083B1-B5120

構成部品名

・取り付けの前に以下の表に従って、部品が揃っているかご確認ください。



品 番		083B1-B5090 083B1-B5140	083B1-B5070 083B1-B5120
No.	部 品 名	個 数	個 数
①-1	積荷シート(標準タイプ)	1	-
①-2	積荷シート(前垂れ付)	-	1
②	PPロープ	2	2
③	金剛打ちロープ	2	2
④	プロテクターパット	10	10
⑤	取扱書	1	1



別 売 品

⑥ ゴムリング
(Φ150)



品 番	品 名	No.	部品名	個 数
08458-BZ000	ゴムバンドセット	⑥	ゴムリング	12

この取扱書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

△ ご注意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

👉 アドバイス・・・より安全、快適にご使用頂く上で知っておいていただきたいことを記載しています。

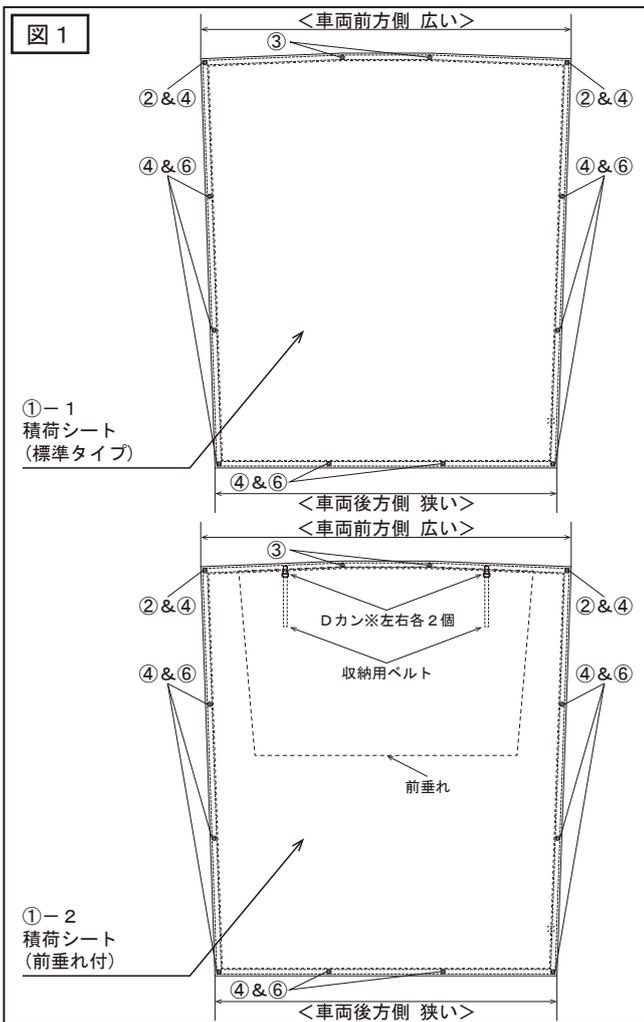
トヨタ自動車株式会社

取 付 上 の 注 意

- ・ 取り付け作業は、安全な場所に車を駐車してください。
- ・ 取り付け作業は、エンジンを停止し、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。
- ・ 取り付け作業は、車両を傷つけないように取り付けてください。
- ・ 指定の取り付け場所以外には、取り付けないでください。
- ・ 取り付けの際、火気のそばに置いたり、鋭利なものを当てないでください。破損の原因になります。
- ・ 積荷シートを使用される場合は、積荷などの脱落のおそれがありますので、必ずロープなどでしっかりと縛り取り付けてください。
- ・ 積荷シートを使用される場合は、リヤコンビランプ及び、ナンバープレートを隠さないように装着してください。

取 付 要 領

・ 本取扱書は積荷を固定するための説明ではなく、ロープ類、ゴムバンドセット（別売品）を使用した積荷シートのバタツキ防止のための説明（代表例）です。

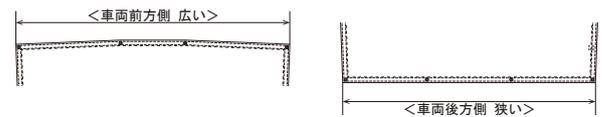


取り付けする前の準備

- (1) 図1を参考に、①-1、①-2積荷シート本体のハトメに取り付ける、②PPロープ、③金剛打ちロープ、④プロテクターパット、⑥ゴムリングの位置を確認してください。

△ ご注意

製品の前後方向識別は、シート横幅を確認し、前後間違えないように注意してください。



- (2) 図2を参考に、①-1、①-2積荷シート本体のハトメの裏側に④プロテクターパットをセットし、②PPロープを2重に通して巻きつけてください。

👉 アドバイス

取付位置は、図1を参照してください。
(①-1、①-2：各2箇所)

△ ご注意

②PPロープは、ほどけてこないようにしっかりと取り付けてください。
車両前方側のハトメには⑥ゴムリングを取り付けないでください。

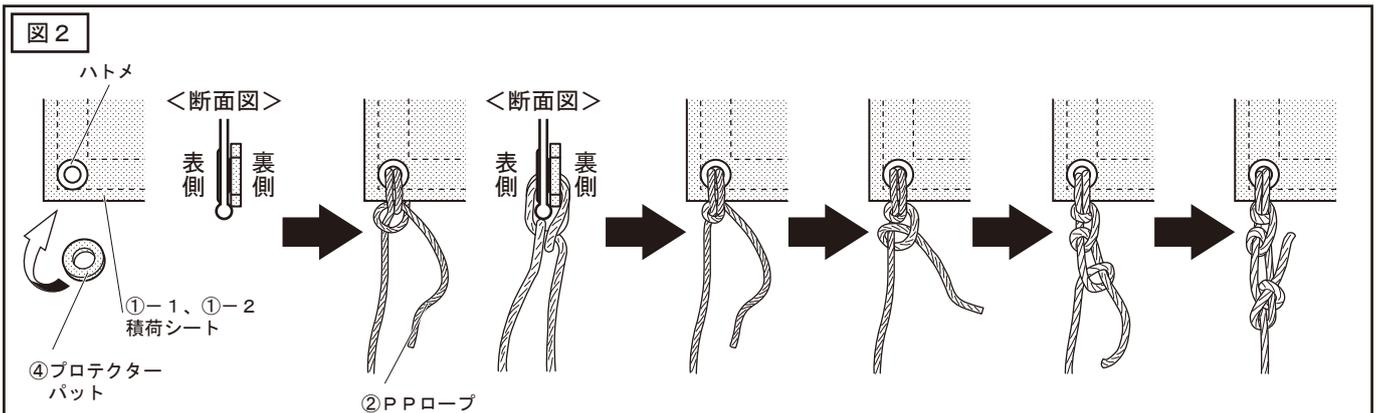
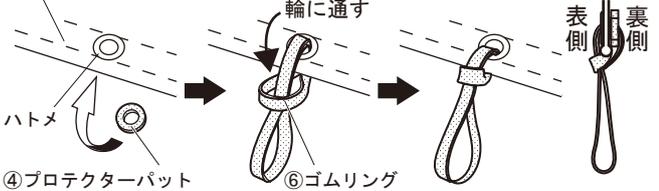


図3

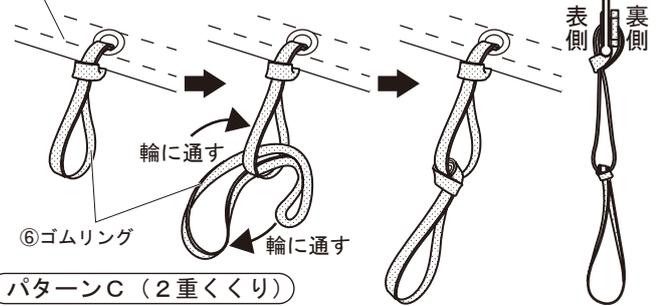
パターンA (1本くり)

①-1、①-2積荷シート(表面)



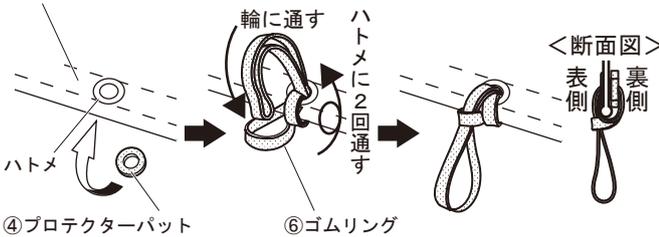
パターンB (2本くり)

①-1、①-2積荷シート(表面)



パターンC (2重くり)

①-1、①-2積荷シート(表面)



(3) 図3を参考に、①-1、①-2積荷シート本体のハトメの裏側に④プロテクターパットをセットし、⑥ゴムリングを取り付けてください。

アドバイス

取付位置は、図1を参照してください。
(①-1、①-2 : 各8箇所)

車両ロープフックに引っ掛ける長さに合わせて、⑥ゴムリングは、図3のパターンA~Cを参考に取付けをしてください。

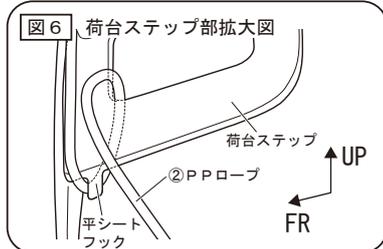
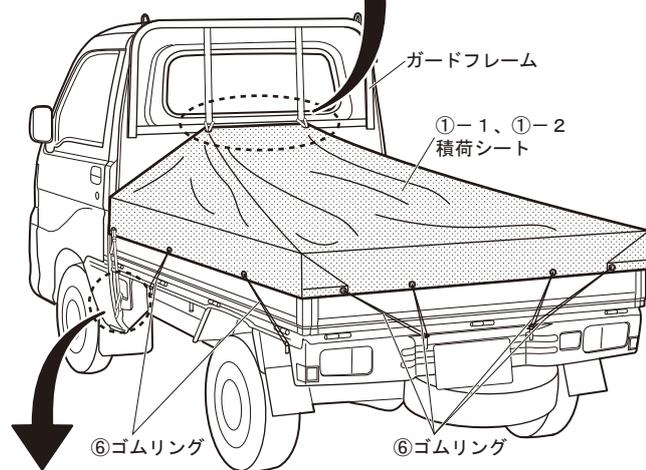
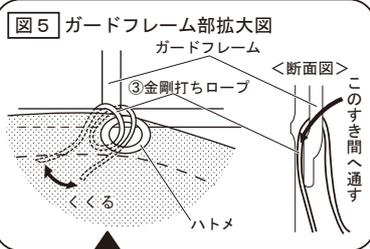
参考目安 (ハトメ~車両ロープフックまでの距離)

- ・パターンA...約300mm~400mmまで
- ・パターンB...約400mm~700mmまで
- ・パターンC...約300mm以下

△ご注意

⑥ゴムリングは、ほどけてこないようにしっかりと取り付けてください。
車両前方側のハトメには⑥ゴムリングを取り付けないでください。

図4



積荷シートの取付け

(1) 図5を参考に、①-1、①-2積荷シートの前2箇所のハトメ部を先に③金剛打ちロープでガードフレームにきっちり固定します。
①-1、①-2積荷シートを荷台にかぶせ、図6のように、前方に取り付けた②PPロープを、荷台ステップ下の積荷シートフックに引っ掛けて縛りつけてください。

△ご注意

②PPロープ、③金剛打ちロープは、ほどけてこないようにしっかりと縛りつけ、車両前方側のハトメには⑥ゴムリングを取り付けないでください。

(2) 図4を参考に、車両のロープフックに⑥ゴムリングを引っ掛け、取り付けてください。

アドバイス

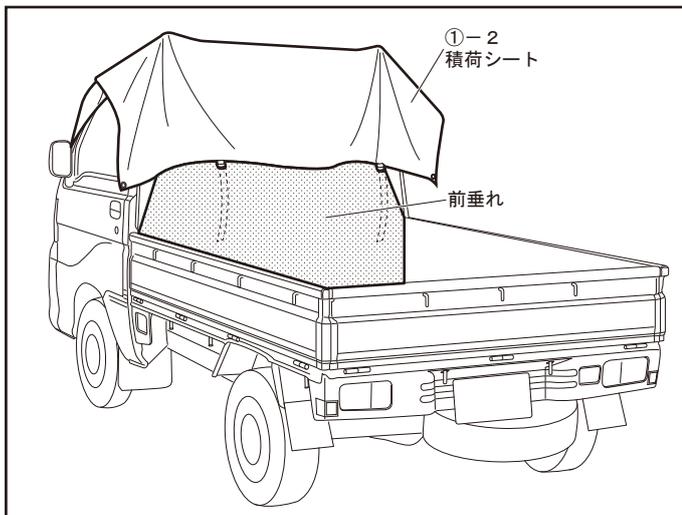
⑥ゴムリングは、図3を参照し、ご使用サイズにあった長さに調整してください。
また図4の⑥ゴムリングの取付け箇所は、代表例ですので、積荷のサイズに合わせて車両のロープフックに引っ掛け、取り付けてください。
⑥ゴムリングが余った場合は、交換用に保管されるか、取付け補強などにお使いください。

△ご注意

⑥ゴムリングが車両のロープフックに確実に固定されているか確認してください。
①-1、①-2積荷シートが左右均等に歪んで取り付いていないか確認してください。

取扱上の注意

- ・積荷シートは汎用タイプに作られていますが、積荷シートのサイズに合わせた荷物の積載をするようにしてください。
- ・積荷シートは、積載する荷物の種類（鋭利な荷物、薬品類）により、傷み、やぶれ等のおそれがありますので注意して使用してください。
- ・走行前に、積荷シートがロープ類に縛られ、ゴムリングで確実に固定されているか確認し、走行中に積荷等脱落しないように注意して使用してください。また後方は、ゴムリングが固定状態でリヤコンビランプ及び、ナンバープレートにかかっていないか確認してください。
- ・本製品は、防水構造ではありません。隙間より水が入ることがありますので、水濡れには注意してください。
- ・雨がたまったり、雪が積もったりした場合等は、すみやかに取り除いてください。
- ・ゴムリングは、性能上、経年劣化します。使用前にゴムリングを点検し、ヒビ割れがある場合は、別売品のゴムバンドセットをご購入いただき、交換してください。
- ・汚れを拭き取る場合、水を含ませた布で拭き取るようにしてください。薬品類は、絶対に使用しないでください。
- ・積荷シートを使用しないときは、積荷シートを完全に乾燥させた後たたみ、傷まないように保管してください。
- ・①-2積荷シート（前垂れ付）の前垂れを収納してご使用される場合、以下の要領を参考に、収納用ベルト及びDカンで固定してください。



①-2 積荷シート 前垂れ収納例

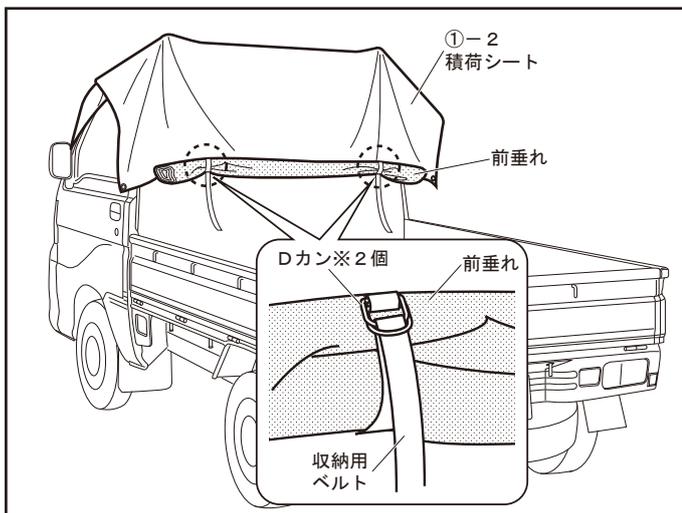
- (1) 左図を参考に、①-2積荷シートをめくり上げ、前垂れが見えるようにします。

アドバイス

左図は代表例ですので、収納時のご使用状態に応じて、各種ロープ類、④プロテクターパット、⑥ゴムリングを取り外してください。

△ご注意

取り外した各種ロープ類、④プロテクターパット、⑥ゴムリングは、再使用しますので、傷を付けたり紛失しないように保管してください。



- (2) 前垂れを丸めて巻き上げ、収納用ベルトの先端を左図を参考に、2つのDカンに通し、最初に通したDカンへもう一度通して固定します。

- (3) 取り外した部品を、ご使用状態に応じて、元通りに取り付けてください。